

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公開番号】特開2006-85843(P2006-85843A)

【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-013

【出願番号】特願2004-270403(P2004-270403)

【国際特許分類】

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 20/14 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/10 F

G 1 1 B 20/10 3 1 1

G 1 1 B 20/14 3 5 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月11日(2007.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の記録媒体に記録されているデジタル音声データを、前記第1の記録媒体の通常再生速度である第1の速度よりも速い第2の速度で再生し、前記第2の速度に対応する高速デジタル音声信号を出力し得る再生手段と、

前記高速デジタル音声信号に対し、対応する前記第2の速度で所定の調整処理を施し、調整された高速デジタル音声信号を出力し得るデジタル信号処理手段と、

前記調整済みの高速デジタル音声信号を、第2の記録媒体に対し、前記第2の速度に對応する速度で記録し得る記録手段とを具備することを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記デジタル信号処理手段は、前記調整処理を施すに際し、第1の速度で再生されるデジタル音声信号に対して施す調整処理のために使用するプログラムに代えて、前記第2の速度の調整処理に対応したより少ない命令ステップ数を有するプログラムを実行するものであることを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記デジタル信号処理手段は、前記再生手段が第1の速度で再生を行い、出力する通常速デジタル音声信号に随伴するビット・クロックを基準信号としてデジタル信号処理動作クロックを生成するPLL回路を備え、前記高速デジタル音声信号に対する調整処理を行うに際しては、前記デジタル信号処理動作クロックと同一周波数のデジタル信号処理動作クロックが得られるように、前記PLL回路における倍率を切り替えるものであることを特徴とする請求項1又は2に記載の記録装置。

【請求項4】

第1の記録媒体に記録されているデジタル音声データを、前記第1の記録媒体の通常再生速度である第1の速度よりも速い第2の速度で再生し、前記第2の速度に対応する高速デジタル音声信号を出力する再生工程と、

前記高速デジタル音声信号に対し、対応する前記第2の速度で所定の調整処理を施し、調整された高速デジタル音声信号を出力するデジタル信号処理工程と、

前記調整済みの高速ディジタル音声信号を、第2の記録媒体に対し、前記第2の速度に
対応する速度で記録する記録工程とを具備することを特徴とする記録方法。